

## 付 属 資 料

1. 現地踏査まとめ
2. カウンターパート、関係者などとの主な協議記録

## 1. 現地踏査まとめ

### 現地踏査まとめ

(2006年10月25日～29日、11月4日～6日、12月2日)

#### I. 北部海岸部：サマナ (Samaná) 県

Las Terrenas、Salto de Limón、Playa Galeras、Parque Nacional Los Haitinses を視察。

##### ① 調査対象地域の現状調査

ドミニカ共和国の北東部に位置する半島サマナ地区(約40kmの長さ、15kmの幅)は現在10地域ある観光開発地域のうち、第6番目として発展してきた。漁業、農業が主要産業であったが、近年では観光が基幹産業へと成長してきている。客室稼働率から見ると、2004年の61.38%から2005年には59.02%と2.36%の減少であるが<sup>1</sup>、新しいホテルの建設がこのデータに影響しているとも推測される。また、2006年1月よりカリブ海クルーズ船も寄港するようになり、11月6日には国際空港がオープンするため国際観光客到着数の増加が見込まれ、今後、発展が期待される地域である。当地域にはBlue Flagなどへの申請中のビーチ、滝、環境保護地区などエコツーリズムのための観光資源やイニシアティブがある。

##### ② 既存エコツーリズム・ツアー内容調査

###### ● Las Terrenas

もともと小さな漁村であったところに観光が始まり、小規模ホテルが建っている。新しい小規模ホテルやオールインクルーシブのホテルが建設増加中。そのため、幹線から外れたアクセス道路などインフラも整備されている。

Playa Coson(コソビーチ)をWyndham Samanáホテル(オールインクルーシブ・ヴィラ)が米国国際開発庁(USAID)との協力の下、公共ビーチも含んだ海岸線をBlue Flagへ申請中、Green Globe 21へも申請準備中。

###### ● Salto de Limón(レモンの滝)

環境保護地区に指定されているLaguna de Juan Garciaと併せて滝観光が5つのコミュニティにより行われている。12家族がその入り口として観光客を受け入れ、片道約45分から1時間かかる道のりをガイドが徒歩と乗馬により滝まで案内するツアーを実施している。その他、受け入れ家族がランチをサービスし、副収入として続けているプランテーションで採れたカカオ、コーヒー、そしてココナッツの殻や石を使ったアクセサリなどを販売している。

滝観光開始によりアクセス道路も整備されたが、コミュニティ内で観光客の奪い合いなど問題が発生したため、その解決とより良い観光発展のために5つのコミュニティの住民から構成されるAsociación de Ecoturismo del Salto de Limón(レモンの滝エコツーリズム協会)が設立された。観光客数は年間約2万9,000～3万人、以前は3万8,000～3万9,000人だったが近年減少した。

<sup>1</sup> Asociación Nacional de Hoteles y Restaurantes, Inc. ASONAHORES.

を通じて既存の商品のプロモーションが可能かどうか、開発調査にて更に調査・検討をしていくことができるのではないかとと思われる。

## II. 北部海岸部：プエルト・プラタ (Puerto Plata) 県及びその他

Lagna Gri-Gri - Rio San Juan、Sosúa - Cabarete、Puerto Plata を視察。

### ① 調査対象地域の現状調査

ドミニカ共和国の北部海岸部は第2観光開発地域として発展し、1990年代には主要産業だった砂糖、タバコ、牧畜をしのぐようになり、カリブ海地域でも有数の観光スポットに成長した。しかし、近年は南部や東部のホテルへ観光客が集中するようになったため、プエルト・プラタを中心とする北部地域の再開発への取り組みがされている。客室稼働率から見ると、プエルト・プラタでは2004年の69.09%から2005年には72.20%と3.11%の増加を示し<sup>2</sup>、ソスア・カバレテ地域では72.30%から74.41%へ2.11%増加しているが、多くのホテルが閉鎖に追い込まれている現状にかんがみると、地域内の競争減少による客室稼働率の改善とも予測される。

プエルト・プラタのなかでもプラヤ・ドラダ (黄金ビーチ) はオールインクルーシブ・ホテルのコンプレックスで栄え、ソスア・カバレテではサーフィンやダイビングのスポットとして人気があったが、他地域との競争激化のなかで閉業したホテルやレストランなども目立つ。プラヤ・ドラダは現在ホテルのイニシアティブにより Blue Flag へ申請中。

### ② 既存エコツーリズム・ツアー内容調査

#### ● Lagna Gri-Gri - Rio San Juan (リオ・サン・フアンのラグナ・グリグリ)

ラグナ・グリグリからボート・ツアーが出ていて、マングローブ林を通り抜けてビーチへ行く。この地区は特に環境保護地区とは指定されていないが、釣りの禁止などある程度の保全ルールがつけられている。しかし、ラグーンは汚染されていて、泳ぐには適さない。ボート・ツアーは2人で900ペソ、3~7人で1,000ペソ。ボート船長22人のシンジケートがつけられていて、20人のオーナーで40ボートを保有する。プエルト・プラタからツアーが来るが、多い時で月に800~1,000人を集客する。

#### ● Puerto Plata

マス・ツーリズムを推進してきたプエルト・プラタの街中ではエコツーリズムと呼べるものはないが、街の公共のビーチであるロングビーチの再生の試みがされている。観光省がビーチの環境を守るための禁止事項を書いた看板を近年立てただけでなく、Asociación de Vendedores (小売業者協会) が7年前よりビーチのゴミ拾いの活動を彼ら自身で推進してきている。3年前より毎朝活動している。メンバー104人。

### ③ 観光関連産業の現状調査

プエルト・プラタ産の土産品は、木彫りの人形の置物やトウモロコシの冠をかぶったインディオの顔の面、また、全土共通の絵画 (ハイチとドミニカ共和国の両スタイル) など。ホテルの土

<sup>2</sup> Asociación Nacional de Hoteles y Restaurantes, Inc. *ASONAHORES*.

産屋によると、バイヤーが個人の製造者からそれぞれ購入し、製造者は街に住む貧困層ということだ。

ハイチ絵画は全土で代表的な土産品として販売されているが、プエルト・プラタ県はハイチ国境に面し、Dajabón 市にはハイチ・マーケットが開かれ、より多くのハイチ絵画が直接入ってくる。

#### ④ 地域コミュニティ開発可能性調査

マス・ツーリズムで発展してきた北部海岸地域では、土産品以外についてコミュニティ開発に結びつくものは特に該当するものが見受けられなかった。しかし、ハラバコア地区へのツアーがあることより、次項のハラバコア市において触れる。

### Ⅲ. 北部内陸部：ラ・ベガ (La Vega) 県ハラバコア (Jarabacoa) 市

Salto de Damajaguas、Salto de Jimenoa、Salto de Jimenoa Numero Uno を視察。

#### ① 調査対象地域の現状調査

ドミニカ共和国の内陸部は第7観光開発地域として、また当国のエコツーリズムの発祥の地として発展してきた。カリブ地域の最高峰ピコ・デュアルテ山 (3,175m)、2つの国立公園とその中に流れる多くの川や滝は、ラフティング、乗馬、登山、トレッキング、パラグライダー、マウンテン・バイクなど様々なエコ・アドベンチャーを楽しむ機会を提供する。また、ラ・ベガ県は特有のお面をかぶったカーニバルや葉巻の産地として有名である。

ハラバコア市は標高 530m で常春の気候で過ごしやすく、コーヒー、花、野菜、養鶏などの産地である。Cluster Ecoturismo Jarabacoa というハラバコア・エコツーリズム・グループ [USAID と米州開発銀行 (IDB) 支援により競争力強化を目的として通産省につくられたプログラム実施組織 CNC が推進している Cluster 事業の一環] が市と連携してエコツーリズムのマッピングなどプロモーションもしている。しかし、小規模なところが多く、情報や広報が不足しており (フランスからの観光客のコメント)、今後の包括的な広報活動が更なる発展の鍵を握るとも考えられる。

#### ② 既存エコツーリズム・ツアー内容調査

##### ● Salto de Damajagua (ダマハグアの滝)

ダマハグア滝観光が始まってから 15 年くらい経つ。2005 年 11 月に国立公園に指定された。ダマハグアには 27 の滝があるが、そのうち 7 つの滝を登るツアーがメジャーで、主にプエルト・プラタのホテルからサファリ・ツアーのトラックで観光客がガイドと共に到着する。観光客数は多いときで 1 日 250 人くらい、ロー・シーズンになると 100 人以下となる。

ダマハグアの滝のローカル・ガイド協会が 38 人のメンバーで設立され、この協会と環境省が滝観光をマネジメントしている。近年、American Peace Corps が入り、USAID からのファンドを基にビジターズ・センターを建設し、新しい入場料を設定、2006 年 11 月 1 日からオープンを予定している。新しい入場料ではコミュニティへも一部配分されることになる。Green Globe に滝とビジターズ・センターがそれぞれ加盟している。また、USAID はガイド養成コースを開いてガイド・メンバーに対して環境や言語について教育してきた。今後、ガイド以外にもコミュニティ参加を促していくことが課題となっている。

- Salto de Jimenoa (ヒメノアの滝)

市民や観光客により訪れられている市直営の滝。3つの滝があり、下の方で泳いだりできる。この滝の下には水力発電所が建てられている。入口で1人当たり20ペソをチャージし、チケットや看板に環境を守るための禁止行為について書かれている。多いときで週末に300~400人が訪れ、平日は100人程度。Semana Santaには600人以上の人が訪れるため、観光警察も来る。売店やトイレ施設もある。売店雇用者も「エコツーリズム」という言葉を知っており、入場料は環境維持のために使われるということ話を話していた。

- Rancho Baiguat (バイグアテ・ランチョ)

当国特有の観光形態の1つとして、ランチョと呼ばれる観光施設がある。もともと、大農園主や牧場が始まりで、宿泊施設を提供したり、牧場を観光客へ開放したり、また、アドベンチャー・ツアーを提供するなど、オーナーによって様々なサービスを実施している。

ランチョの1つとして、バイグアテ・ランチョを視察した。38室の客室を有し、トレッキング、乗馬、ラフティング、マウンテン・バイク、パラグライダー、滝ツアーなどのエコ・アドベンチャー・ツアーを提供し、専属ガイドが案内する。

- Salto Jimenoa Numero Uno (ヒメノアの滝 No. 1)

コミュニティの人によると、60年前くらいから観光客が滝を訪れるようになった。ヒメノア川の滝の1つで、Constanzaにある最上流の Salto de Agua Blanca (白水の滝) からつながり、この滝では映画「ジュラシック・パーク」も撮影された。2000年に国立公園に指定された。アクセス道路は十分に広いが舗装されていない。コミュニティには約300人、約46世帯が住み、Asociación para el Desarrollo Comunitario del Salto Jimenoa #1 (ヒメノアの滝 No. 1 コミュニティ開発協会) を組織し、ドイツ技術協力公社 (GTZ) から始動のための資金を得て Proyecto de Gran Salto de Jimenoa #1 (ヒメノアの大滝 No. 1 プロジェクト) を2年前から始めた。協会のメンバーは30人で男女だいたい半々。プロジェクトの目的としては、①エコツーリズムへのコミュニティの若者と女性の参加によるコミュニティの経済的な発展、特に若者がコミュニティ内で仕事を残ること、②自然環境を維持することをめざしている。

メンバーは生業とするコーヒー園などで働いているが、日曜日に滝の掃除や道の整備などのために活動し、毎週ミーティングを開催している。今後のプロジェクトのアイデアとしては、乗馬、セラミックなどの手工芸品、レストラン、道の整備、ゴミ処理など自然環境の維持、トイレ・水道・休憩所の設置、警備員の配置などを考えている。課題としては、これら事業のための資金調達 (GTZは50%のカウンター・ファンドを要求している) と、広報活動の必要性をあげている。現在、10ペソを入場料としているが、今後、値上げする予定。週に約30~40人が訪問する。規模としてはまだ非常に小さく、プロモーションが重要と考察する。同時に、観光客が増加した場合にコミュニティ内でコンフリクトが起こらないよう、啓発活動や体制を整えていく必要性を感じた。

### ③ 観光関連産業の現状調査

山、川、滝など自然を資源とした観光、正にエコツーリズムにふさわしい観光地と思われるが、小規模な個人観光事業が点在して機能しているためか、他産業への連関は特に見受けられない。

例えば、コミュニティのコーヒー園の特産物売るなど考えられるのだろうが、特産品なども特に見られなかった。しかし、ハラバコア・エコツーリズム・グループ提供の地図にはコーヒー園へのツアーが個別に掲載されていた。

#### ④ 地域コミュニティ開発可能性調査

当国のエコツーリズムの発祥の地と呼ばれるだけあって、山、川、滝などエコツーリズム開発のための観光資源には富んでいる地域だと思われる。しかし、ランチョや小規模な観光事業者が中心で、上記 Salto Jimenoa No. 1 のようなコミュニティ参加型のイニシアティブについては、USAID-American Peace Corps や GTZ などドナー支援によるものを視察したが、活動としては初動時期のものである。しかし、コミュニティの結束力やドナーによる環境やマネジメント教育に基づいた活動始動には、今後の発展に期待できる。開発調査においても特に広報支援などにおいて注目するとよいかと考察する。

### IV. 南西海岸部及びハイチ国境地域：バラオナ (Barahona) 県、ペデルナレス (Pedernales) 県、インディペンデンシア (Independencia) 県、及び Bahoruco 県

Parque Jaragua (Laguna Oviedo, Bahía de las Águilas)、Barahona、Paraiso、Los Patos、Cachote、Pedernales、Laguna de Rincón、Lago Enriquillo を視察。

#### ① 調査対象地域の現状調査

南西部は第4観光開発地域で、砂漠、沼地、山地、谷、海、湖など国内で最も生態学的に豊富な観光資源を有する地域として、低開発のエコツーリズム対象地域として自然環境を維持してきた。海岸部には塩分を含みフラミンゴなど鳥類や固有種のイグアナの住むオビエド湖や砂漠地帯に面したアギラス湾の海岸を有するハラグア国立公園、ハイチ国境近くには塩分を含みクロコダイルや固有種のイグアナが住むラムサル条約に加盟しているエンリキージョ湖を覆うエンリキージョ湖・カブリトス島国立公園、そして山地のシエラ・デ・バオルコ国立公園の3つの国立公園がある。

大きな都市はバラオナ市とサン・フアン・デ・マグアナ市の2つで、地形的にも人口は少なく小さなコミュニティに居住している。産業は漁業と農業に依存しており、特に砂糖、バナナ、トウモロコシ、コメ、キャッサバが主要産品である。また、この地域はハイチ国境に面しており、貧困層の多い地域である。特にインディペンデンシア県は最も貧困な県の1つである。

南西部への空からのアクセスのためにバラオナ空港が10年ほど前に開港したが利用者は少ない。一方で、2006年はじめ、現観光大臣がフランスで、国立公園にもかかわらずアギラス湾のビーチにエコロッジを建設するため600万ドルの直接投資を受け入れる約束をしてきてしまい、環境省他で論争を起こしている。

#### ② 既存エコツーリズム・ツアー内容調査

- Laguna Oviedo (オビエド湖) ビジターズ・センター [ARAUCARIA (スペイン国際協力庁：AECI) と環境省とのプロジェクト]

ハラグア国立公園のガイドへインタビューを実施した。ガイドはオビエド自然ガイド協会 (Asociación de Guías de Naturalezas de Oviedo) に属していて、現在メンバーは28人。4つの

エリア (Oviedo, Enriguillo, Cachote, Rincón) で地元 NGO のハラバコア・グループがキャパシティ・ディベロップメントをした。28 人のガイドが生まれたが、4 人しか稼働していない。客が少なく、その他のガイドは他の都市、国に引っ越した。

面積は海部 1,374km<sup>2</sup>、湖が 27km<sup>2</sup>。湖は海拔 15m で塩分が普通の湖より 3 倍高く、硫黄のにおいがする。湖内に 24 の島があり、イグアナが 2 種類 (山と海) 生息していて、山のイグアナが固有種で絶滅の危機にある。鳥は 60 種類以上、魚のティラピア、フラミンゴ、ピューター、ペリカン、海亀、チタコ (小魚の固有種) が生息し、4 種のマングローブがある。6~9 月にウミガメがくるが、そのうち一番大きい種が絶滅の危機にある。

観光客は 500m 離れたところにあるビーチ・リゾート (Punta Arena, St. Luis, Mosquea, Englesa) に滞在できる。国立公園への入場料は、外国人は 50 ペソ、国内観光客は 20 ペソ。ボート・ツアーは 8 人乗りで 2 時間 1,800 ペソ、そのうち 300 ペソがガイドへ払われる。環境省が管理・運営している。

- Parque Nacional Jaragua, Bahía de las Águilas (ハラグア国立公園・アギラス湾)

公園入り口まで行く途上に、Humedal de Cabo Rojo という沼地があり、鳥などがいる。この辺りにセメント工場があり、ボーキサイト出荷港となっているため道路が整備されている。観光省も今後ここを観光客の受入口とする考えもあり、トイレなど整備する予定もある。また、Cabo Rojo ビーチがキャンプ場ともなっている。

公園入口手前の漁村コミュニティ (Las Cuevas : 17 世帯、人口 82 人) から公園内のビーチまでボートでも行ける。公園内の道がかなり悪く四輪駆動が必須のためボートの方がよい。片道 1,000 ペソで 15~20 分、往復だと 1,800 ペソ。1 ボート 16~20 人乗りでコミュニティにある 14 ボートのうち、6 ボートを観光客用に使っている。コミュニティ運営とは別にランチョが 8 ボート持ち 3 ボートを観光客用に使用している。ランチ付きのパッケージもある。こちらはセキュリティ用のベストも用意している。コミュニティ内には 2 つの食堂があり、ソーラーパネルで電気を起こしている。水供給も今後の課題。現在、車両で公園内へ入る客が多く、空気汚染も懸念される。したがって、ボート・ツアーの向上が今後の課題と考えられる。

公園入口に環境省のオフィスがあるが、2 人のみが勤務しており、公園管理に問題あり。

ババロから朝 5 時ごろ出発するツアーもあるが、メインはバラオナやサント・ドミンゴからのツアーで、国内観光客が多い。ハラグア公園まで距離が遠く、道のりが単調なため、途中の移動が退屈しないように 1 時間おきに眺めの良い展望台をつくったり、行き止まりのルートを周遊できるようにしたりするなど工夫が必要。

また、ハラグア・グループという環境 NGO がコミュニティの持続的な開発に取り組んでいる。なかでも、エコツーリズムに重点を置いていて、コミュニティ・センターを設置し、ランチやボート・サービスを提供、若者がガイドとして働いている。現在、週に 3 日くらい観光客が訪問する。青少年の環境教育だけでなく、エコツーリズムにより彼らの将来の職と結びつけたい意向だった。その他、ARAUCARIA (AECI) からの支援で小さな町の図書館をコミュニティ内に設置し、Green Carib プログラムを実施 (工芸品のプログラム、ポテンシャルの特定、マイクロ・クレジット、環境保護など) した実績がある。現在はドナーによる資金支援は受けていない。

- Pedernales (ハイチ国境ペルデナレス)

マーケットが AECEI によりつくられており、金曜日と月曜日に市が開かれ、日用品が売られている。週末には 1 日 100 人ほどが訪問する。エンリキージョ湖からハイチ国境を上がって周遊できるようなルートづくりと道の整備が必要と思われる。(Vicente Nobre 温泉の観光地化も。)

- Cachote (カチョテ)

標高 1,100m にあるエコツーリズム・サイト (コミュニティは 30 世帯 120 人) で、幹線道路から約 2 時間の悪路を行かなければならないため一般車では行けない。サイトまでの地域はナチュラル・モニュメントの指定を受けていて、典型的な雲霧林が標高 2,500mm まで広がっている。常時降雨のためコケの種類が多く、ここだけの固有種も多い。

Empresa Ecoturística Comunitaria “Cachote” (“カチョテ” コミュニティ・エコツーリズム会社という零細企業) のコーディネーターより聞き取りを実施し、ビジターズ・センター、Jibijoa 熱帯雨林遊歩道 2 時間コース、ロッジを視察した。このサイトには、2 つのガイド用の遊歩道と 3 つのガイドなしの遊歩道があり、鳥類保護区となっていて、ガイドツアー+ランチで 500 ペソ、往復のトラック・トランスポートは 200 ペソ。特殊なカエルなど、夜行性動物の観察コースも検討中だった。パッケージ料金 (宿泊、食事、ガイド) は、10 人以下は、1 人 1,200 ペソ、11 人以上は、1,000 ペソ、日帰りは 400 ペソ。大学生などには割引がある。これまで 6 年間で、3,000 人が訪問したが、当初、お金を徴収していなかった。観光には季節性があるため、エコツーリズムを副収入源としてとらえていて、これまで最大で月に 5 万ペソの利益があり、15 人のメンバーで分配した。観光客は徐々に増えつつあるが、PR 方針を決めて販促を向上して観光客数を増やしていくことと、資金調達が今後の課題。キャリング・キャパシティの調査もやっており、ここでの適正は、月当たり 20 人が最低ライン (財政的持続性)、最大で 100 人 (許容範囲) と算出されている。

ビジターズ・センターは、スペインのデザインで、この周辺で唯一食事サービスをしている。食食用原材料の供給については、野菜や鶏肉などはこのコミュニティ又は周辺から調達しているが、ケーキやコメはこのものではない。今後、パネルなどをつくって情報センターの機能を充実させていく予定。

現在、2 つのコテージ (各 5 人用) が建設済みだが、夜は冷え込むので、毛布など持参する必要がある。土壌に保水性がないため、天水を利用、200 ガロンの貯水タンクがある。また、シャワー室、30 張、80~100 人収容可能なキャンプ場もあるが、施設水準は低い。今後、太陽パネルの設置や 5 つのロッジと民宿用に 5 戸の整備を進める予定。UNDP-PPS (Programa de Pequeños Subsidios) の承認がおりている。(プロジェクト費 100 万ペソのうち、80 万ペソの支援を得ている。資金はこの村から調達できない資材、例えばセメントやトタンを購入するのに使い、なるべくコミュニティ内から資材を調達している。調達については商工会議所が支援してくれている。)

地域住民の間で、4 つの水源を守ることと、環境の重視や森林保護、エコツーリズムを通じた地域社会の経済活性化について理解されてきている。また、この地域にはハイチ人が多く移住し、コーヒー園で働いている。以前はハイチ人により森林伐採が進んでいたが、このプロジェクト開始により食い止めた。ハイチ人もプロジェクトに参加させ裨益することが重要と認識



している。例えば、ハイチ人の音楽バンドをプロジェクトで依頼したりしている。

また、カチョテまでのアクセスや手段が課題で、企業として送迎用トラックをもち観光客輸送事業を提供したいと考えていて、トラックの援助を探している。この点に関して、悪路の改善が先決という意見と、悪路のままの方がアドベンチャー的でよいので送迎用トラックの補強のみが必要という意見がある。

このプロジェクトは全国及び南部のコミュニティ参加型エコツーリズムのモデルとして知名度が上がってきており、UNDP-PPS の紹介などで他のコミュニティが視察に来ている（同地域の Polo 市や北部内陸地域 Moca 市からも来た）。国の援助はないが（7 月ごろに環境大臣が初めて訪問し公園管理委員を 2 名任命した）、コーネル大学（薬草の効用研究に毎年学生らが来る）、市役所、NGO 団体、アイスクリームの民間会社 Bon や AECI のプログラム ARAUCARIA（スタッフ教育や PR を支援している）、UNDP-PPS（零細ビジネスを組織するためのオリエンテーションも受けた）などからの支援がある。

この零細企業のメンバー 15 人（うち女性は 7 人）は固定で、SOEPA (Sociedad de Ecologica de Paraiso: [www://soepa.org](http://www://soepa.org).これは [paraiso.rd.com](http://paraiso.rd.com) ともリンクしている) と EVANOVERDE の 2 つの NGO のメンバーに参加しているのが、運営委員会に入るための条件。2 年前に組織化し、コーディネーター（コミュニティ外部）、ビジターセンター運営長、ガイド、調理、清掃などの役割分担ができています。道路や遊歩道も住民がつくった。利益の配分については、月 1 回集会をして利益の確認をする。職務により配分額は違うが、固定差は 100 ペソくらい。25%は会全体の運営費、残り 75%を配分。役割分担や配分額についてコンフリクトが見受けられた。

- Paraiso, Los Patos（パライソ、ロス・パトス）

パライソ・ニサイト川流域開発保護基金 (Fundación para el Desarrollo y Protección de la Cuenca de Río Nizaito en Paraiso : FUNDEPROCUNIPA) と聞き取りをした。（別紙「プロポーザル 1、2、3、4」参照）

住民組織をつくり、水道などインフラの整備、400 戸の住居の改修、山間部における 4 つの学校建設、ハリケーン・ジョージ後の 32 戸の建設、街の教育センターの建設、4 ヶ所の集会所建設（コミュニティ・センター）、ロス・パトスとマランガの中流域の 2 つの村における環境保護のための組織化（サン・ラファエルとマランガで PPS のファンドで環境保全事業実施）、海岸地域における女性グループ、エコロジー・ソサイエティ、町内会、小売業協会の組織化などを行ってきた。

この地域はコーヒーが主産業であったが、病虫害や 1990 年代の価格低下で他の作物に転換中で、エコツーリズムへの取り組みも行おうとしている。CAD (Consocio Asociada Dominicana: 全国的 NGO) と市役所と一緒に、観光資源調査、サービスの実態調査を行い、現在は宿泊施設の実態調査を行っている。環境保護とサステナブルなコミュニティ開発のためのエコツーリズムのパイロット・プロジェクトを短期、中期、長期に分けて 5 ヶ所（山間部：カチョテ、マランガ、海岸部：サン・ラファエル、パライソ、ロス・パトス）で計画。その事業費（2, 100 万ペソ）を国会に申請中（CAD のプロジェクトとして国会で予算編成中：Proyecto de Desarrollo Comunitario Ecoturístico de Paraiso）。

観光資源としてはロス・パトス海岸（世界一短い川としてギネス・ブックに掲載、水浴び場として国内観光客で賑わっている）や洞窟（タイノの壁画あり）があり、散策ルートの整備を

事業で実施する予定。それに基づき、カチョテやサン・ラファエルなどを併せたエコツーリズム・ルートの策定を計画している。また、ビーチとロス・パトス川の周辺で食堂などの建物が乱立しているので、エリア別に利用区分を明確にするようレイアウトをしたり、建物のデザインを変えたりするなど計画している。店舗の連盟もつくって販売戦略の共有を検討している。現在、B&B (Bed and Breakfast) が2つくらいしかないが、アパート・ホテルがたくさんあり、長期滞在者が多い。今後、住居の一部を宿泊用に改善する予定。(ホームステイもやっているが1室のみ貸す。これ以上大きくなると観光省のビジネス許可が必要となるから。現在、JOCV 松尾さんがウェブを更新するために宿泊施設のインベントリーを作成中。)

- Lagna de Rincón (リンコン・ラグーン)

ラグーンは塩分を含み、野生動植物が豊富、環境省の自然保護地域事務所がある。この周辺の Jimani 町沿いのコミュニティは3年前のハリケーンの被災地で多くの人々が亡くなった。カブラル市には SOECA (Sociedad Ecológica de Cabral)、SOEBA (Sociedad Ecológica de Barahona) の事務所があり、UNDP-PPS のファンドを得ている。また、サント・ドミンゴでも Grupo Ecologista Tinglar が支援している。この3つの NGO が自然保護プロジェクトをやっていて、ラグーンは国際自然保護連合 (IUCN) により野生動植物保護区に指定されている。鳥が特に多く、アメリカ合衆国の Duck Unlimited も入り、野鳥保護に取り組んでいる。現在、ビジターズ・センターの建設を計画している。

その他、地元ガイド協会、漁師協会、農民協会などもあり、市とも連携している。ラグーンの周辺に4つのコミュニティがあり、20~30代の若者が集まり、SOECA のほかに Sociedad Ecológica del Peñon、Sociedad Ecológica de la Lista、Asociación de Pescadores がそれぞれのコミュニティを代表して自然保護プロジェクトのプロポーザルをつくっているため、環境省が取りまとめてドナーへ提出する予定。インフラ (道路など) 整備やビジターズ・センターのプロポーザルも含む。

- エンリキージョ湖

バラオナの街から車で約3時間行ったところにエンリキージョ湖がある。エンリキージョは16世紀のインディオのリーダーの名前に由来する。スペイン人と戦ったゲリラの英雄で、20年間バオルコ地域を統治し、彼のみ負けずにスペインと戦い合意を取り付け、地域を守った。

エンリキージョ湖は国立公園に指定され、ラムサール条約にも加盟している。入場料1人10ペソ。環境省が管理、看板は民間のセメント会社が設置。イグアナの固有種が2種類生息し、1つは湖内に浮かぶカブリトス島にのみ住んでいて絶滅の危機に瀕している。その他、クロコダイルが湖に生息する。週に60人ほどが湖を訪問する。カブリトス島へのボート・ツアーは約2時間かかり、1ツアー1,000ペソで12~22人乗り用。環境省が運営していて、ボートは2台、キャプテン2名を雇っている。20人ほど集まったときのみ運行し、普段キャプテンは農業に従事している。その他、コミュニティにはローカル・ガイドもいて、環境省がトレーニングした。

湖の入口の付近には Las Caritas というタイノ族による顔の壁画もある。湖だけでなく、エンリキージョやハイチなどの歴史、国境などもテーマにしたツアーの催行が提案される。

- バラオナのホテルからのツアーの例
  - a. エコ・ツアー：Laguna Rincon, Playa San Rafael, Laguna Oviedo, Bahía de Las Águilas, Lago Enriquillo, Hoyo de Pelempito
  - b. 半日ツアー（エコ・トレッキング）：Cachon – Guazara, Cachote
  - c. 1日ツアー：Cachote – Batoruco, Mundazo – Cachote
  
- Rio San Rafael でエコツーリズムを CMN（企業）がやっているが、今回は視察なし。

### ③ 観光関連産業の現状調査

砂漠地域に生息する動植物や特異な風景や砂浜、固有種の動植物も生息する湖や山地など 3 つの国立公園を有する未開発の南西部には、今後、エコツーリズムの開発により、現在の漁業や農業に関連した副収入源として貧困地域を裨益する可能性があるのではと考えられる。今後の改善が必要ではあるが、既に漁師によるボートを使った観光客輸送業なども存在し、また、バラオナとパラソの間にある世界唯一のラリマール石の産地である山と加工場もあり、観光と結びついている。

しかし、地域全体が低開発なので、観光客を誘致するためには最低限のインフラやアクセス道路の整備、コミュニティで実施されている小規模な観光関連産業の組織化や連携が必要と思われる。同時に、既存の産業の 1 つであるコーヒー園や 3 つの国立公園、ハイチ国境、エンリキージョの歴史などを活用したルートづくりや、エコツーリズムの対象地周辺の宿泊施設の分布図を作成してオプション・ツアーを供給していくことが提案される。例えば、現在の単調で長距離のアクセス道路に、宮崎県方式で沿道の美化や途中に見所となる展望所や公園をつくったりすることがあげられる。また、現在は往復に同一ルートを使わなければならないが、ハイチ側へ抜ける、あるいは国境警備目的でそれが無理ならば、ペデルナルスから北上ルートを整備してエンリキージョ湖と結ぶなどしてルートを工夫する。ハラグア公園については、アギラス海岸手前のカボ・ロホ海岸を強化したり、沼沢地には鳥類観察小屋を設置したりするなどが提案される（参考：オアフ島のハナウマ湾）。公園の自然環境を保全するためには、週 1 日は休園日をつくり、コミュニティで海岸と海の清掃をしたり、公園内への入場者数を制限したりすることも必要となってくると思われる。

### ④ 地域コミュニティ開発可能性調査

バラオナを訪問した際、Hotel Costa Larimar で Barahona Cluster がエコツーリズムの戦略計画について 2 日間のワークショップを開催していた。Aerodome（飛行機関係会社）、市、議員、コミュニティ参加型グループなどが参加してプランを仕上げていた。地域をあげてのエコツーリズムへの取り組みが積極的にされている状況が分かり、本件開発調査においても連携をしていくことが可能と考えられる。

コミュニティによる小規模な観光関連イニシアティブは同地域において散在している。全国モデルといわれるものから、漁師による小規模な輸送事業、コミュニティ開発の 1 つとして CBO（地域住民組織）が取り組もうとしているエコツーリズム事業、環境省の公園管理と結びついた輸送事業やローカル・ガイドなど様々な試みがされている。したがって、これらのイニシアティブのキャパシティ・ディベロップメントや統合的なルートづくり、インフラ整備などにより今後

のエコツーリズムの促進とコミュニティへの直接裨益の向上の可能性を有する地域と考えられる。

## V. 東部海岸地域：La Altagracia 県

バジャイベ (Bayahibe) 国立公園サオナ (Saona) 島を視察。

### ① 調査対象地域の現状調査

バジャイベ国立公園は大規模ビーチ・リゾート地域であるババロ、プンタ・カナ地域とボカチカ地域から約 1~2 時間に立地するため、砂浜ビーチが広がるサオナ島には国内最大の年間約 40 万人が訪問する。(参考：ドミニカ共和国全体で 2006 年は約 400 万人が訪問すると見込まれているので、10 人に 1 人はこの島を訪問する計算になる。)

公園の入口でサオナ島へボートで渡るところに環境省のオフィスがあり、駐車場へツアー・オペレーターの大形バスが到着し、そこからボートで 30 分 (スピードボート) ~1 時間 (カタマリン) でサオナ島へ到着する。

### ② 既存エコツーリズム・ツアー内容調査

#### ● Isla Saona (サオナ島)

サオナ島へのツアーは公園入口からだボート、飲み物、ランチ込みで 40 ドル。ボカチカのホテルからだ約 70 ドル。アトラクションはビーチ (白浜、サンゴ礁は特になし) とマングローブ林。島到着の途中の水が澄んだ浅瀬で一度ボートが止まり、客は 30 分ほど泳いだ。マングローブ林散策路もあるようだが、今回降り立ったビーチからは入れなかった。施設はトイレ、ビーチバレー用コートなどのみ。別途、PADI (Professional Association of Diving Instructors) の店が公園入口にもあり、ダイビング・ツアーもある。

島は国立公園で国有地だが、オーナーがビーチの区画など土地を借りていて、そこへツアー・オペレーターが区画ごとに客をボートで連れてきてドリンクやランチ (ツアー料金に含まれる) を提供する。国立公園のため宿泊は認められておらず、夕方 4 時までには客はすべて島から出なければならない。ツアー・オペレーターのサービスで雇用されている人はラ・ロマナ在住が目立った (この島のコミュニティの人ではない)。公園入園料はツアー・オペレーターが環境省公園管理事務所へ払っている (1 人当たり 100 ペソ)。

また、POLITUR (観光警察) が全ボートではないが同乗し、島でも点在して観光客の安全管理をしていた。

### ③ 観光関連産業の現状調査

バジャイベ国立公園入口事務所のあるところにバジャイベ・ホテル協会 (6 つの大型ホテル) などが出資してできた小学校や職業訓練所があった。この地域のホテル協会はまとまりが良い。Blue Flag 認定のホテルもある。

国立公園ではあるが、サオナ島ツアーに関してはマス・ツーリズムの状況で、公園入口手前にはレストラン、バー、土産品店などが広がり、観光地としてコミュニティや従業員を裨益している様子だった。しかし、施設があまり衛生的ではなかった。

また、バジャイベ公園は広大な熱帯雨林の公園だが、特に観光客が自然を楽しめるようなアト

ラクシオンはない。散策路などつくって、エコ・ツアーを通じて観光も楽しめ、自然も守っていただけるような工夫が今後必要と思われる。コミュニティによるエコ・ツアーの動きもあるようだが、そうした動きは普通の観光客にはまだ見えていない。国立公園内でのビーチ・ツアーのマス・ツアーリズムをいかにサステナブルにしていくか、また、エコの部分はどう提示していくかが今後の課題と思われる。

#### ④ 地域コミュニティ開発可能性調査

サオナ島には観光客の泳ぐビーチから約6km入ったところに Mano Juan というコミュニティがあり約300人が住んでいる。ビーチでは、このコミュニティから来て、サオナ手工芸品小売協会の黄色いTシャツを着た男性がアクセサリを売ったり、女性がマッサージをしようと客に近づいたりする程度で、コミュニティと観光との関係はあまり見受けられなかった。また、あまりフレンドリーな感じではなかった。国内で最大の集客を誇る島において、コミュニティ参加が図られていないことが懸念された。

## ***SITUACIÓN PLANTEADA***

Después de más de diez (10) años que la Fundación para el Desarrollo y la Protección de la Cuenca del Río Nizaito “FUNDEPROCUNIPA”, que tiene trabajando en todas las comunidades del Municipio de Paraíso y en cada una de ellas hay una organización que forma parte de la misma, con los cuales sean realizado actividades de capacitación, capacitación comunitaria, autogestión, liderazgos, entre otras; además hemos trabajado en la mejora de la calidad de vida y el desarrollo integral de las familias que habitan el Municipio en labores tales como: reforestación, agricultura sostenible, infraestructuras (construcción de tres (3) centro de formación, cuatro (4) escuela, dos (2) acueducto por gravedad, ocho (8) cisternas de 16,000 galones cada unas para agua potable, reparación de 400 viviendas, construcción de 31 viviendas, construcción de 165 retretes, dos (2) clínicas rurales). También alfabetización de niños y adultos en 13 comunidades, asistencia de salud en cuatro (4) comunidades (médicos, promotores de salud y Botica), apoyo a las mujeres organizadas con micro-prestamos para pequeñas empresas; además de medios alternos de producción como son: Crianza de animales a pequeña escala (Bovino, caprino, apícola)

Con lo que hemos creado las condiciones a nivel comunitario para realizar acciones que potencien la principal riqueza que tiene el Municipio de Paraíso, el cual es su belleza natural playas, ríos, montañas, ya que para las actividades agrícolas y pecuarias tiene limitaciones porque sus suelos son categorías 6, 7 y 8 de vocación forestal de muchas colinas, montañas con algunos valles.

Después de un análisis ponderado las organizaciones del Municipio de Paraíso, la Municipalidad, hemos diseñado una estrategia de desarrollo municipal el cual hemos llamado “Programa Sostenible de Desarrollo Ecoturístico Comunitario del Municipio de Paraíso”, el cual consta de tres etapas:

- 1<sup>era</sup> Tres años
- 2<sup>da</sup> Siete años
- 3<sup>era</sup> Diez años.

Para la Primera etapa hemos realizado:

- 1- Atractivos del Municipio
- 2- Plan de Acción
- 3- Mapas de Rutas Ecoturísticas

## Plan de Acción

### Programa Integral y Multiinstitucional “Desarrollo de Ecoturismo Comunitario en el Municipio de Paraíso”

**Horizonte del programa:** 20 años, divididos en fases

**Definición de los involucrados:**

#### **Grupos meta**

- ☛ Población del municipio en general
- ☛ Moradores de cinco comunidades: Paraíso, San Rafael, Los Patos, La Malanga y Cachote
- ☛ Proveedores actuales y futuros de diferentes servicios
  - Alojamiento (pensiones y hoteles)
  - Alimentación (comedores y restaurantes, venta de bebidas)
  - Transportistas (animales, motores, carros, camiones, botes)
  - Guías de interpretación y guías prácticos
  - Artesanos
  - Accesorios para actividades ecoturísticas
  - Touroperadores

#### **Actores principales**

- ☛ ONGs del municipio
  - Fundeprocunipa
  - CAD
  - SOEPA
- ☛ Ayuntamientos
  - Ayuntamiento municipal Paraíso
  - Ayuntamiento del distrito municipal Los Patos
  - UGAM

#### **Instituciones reguladoras**

- ☛ Secretaría de Turismo
- ☛ Secretaría de Medio Ambiente y Recursos Naturales
- ☛ Secretaría de Educación

## ***Problemática***

La Región Enriquillo abarca una de las zonas de mayor importancia en términos de recursos naturales, biodiversidad y belleza paisajística en toda la Isla Quisqueya (Haití y República Dominicana). Por esta razón se estableció la Reserva de Biosfera Jaragua – Bahoruco – Enriquillo, con fines de promover sistemas de uso sostenible para asegurar la conservación de este gran tesoro natural. Un uso sostenible de alta importancia es el ecoturismo, que promueve la valorización de las áreas vírgenes como atractivo turístico y puede ser un elemento principal en la lucha contra el deterioro de los bosques y de las cuencas hidrográficas.

Uno de los municipios con mayor potencial ecoturístico en la región es el de Paraíso. Con sus 140 km<sup>2</sup> abarca la mayor parte de la cuenca del Río Nizaíto. Incluye la parte llana del valle, partes de los sistemas montañosos Loma Remigio y Loma La Torre. A parte del casco urbano incluye varios pueblos en la costa: San Rafael, Ojeda y Los Patos y pequeños parajes en el valle y en las lomas. El total de la población del municipio es de 16,000 habitantes.

El municipio vive principalmente de la producción agrícola. Hay una migración fuerte de los moradores desde las lomas del municipio hacia los centros urbanos de la costa hacia fuera del municipio. El espacio vacío llenan nacionales haitianos que se ubican en muchas casas y ranchos de los parajes en la montaña y se dedican a labores agrícolas bajo diferentes modalidades con los dueños de la tierra. La baja en los precios del café han causado un cambio hacia la tala de los cafetales y la siembra de productos de ciclo corto como ñame y yautía en muchos parajes en la loma de Paraíso, fenómeno que está provocando un aumento en la deforestación, conjunto con procesos de erosión y pérdida de fertilidad del suelo.

Las organizaciones que se dedican a fomentar el desarrollo del municipio están conciente de esta problemática y trabajan en diferentes vertientes para frenar este deterioro ambiental. Una de las estrategias identificadas es el desarrollo ecoturístico comunitario, porque crea fuentes de ingreso que no están basadas en el deterioro y le da un valor a los recursos intactos (bosque, paisaje, agua, biodiversidad, etc.) que es mucho mayor que el valor que tiene un recurso alterado (conuco, potrero).

El desarrollo ecoturístico comunitario es un elemento importante en la búsqueda de soluciones para la sostenibilidad ambiental. Aun no es el único elemento. Las organizaciones que participan en esta propuesta llevan muchos años trabajando en otras vertientes como la promoción de agricultura sostenible, educación y gestión ambiental. Así hay que ver la ejecución de esta propuesta como una pieza (aun importante) en un programa de desarrollo municipal a largo plazo.

## ***Visión***

Se ha logrado un alto nivel de conciencia en la población humana acerca de los recursos naturales, el cual se refleja en la aplicación en el cuidado y uso sostenible de los mismos en el área del municipio de Paraíso.

## ***Finalidad***

Se va reduciendo el nivel de pobreza en el municipio de Paraíso y se van mejorando las



condiciones ambientales.

### ***Objetivo del Programa***

Se ha establecido el uso ecoturístico en el municipio, como una fuente importante de ingresos familiares, con alto nivel de autogestión por parte de las comunidades y un sistema de explotación que promueve los principios de equidad y amistad entre los moradores.

### ***Metodología***

Para diseñar el programa se juntaron los representantes de las cuatro instituciones con incidencia en el municipio en reuniones semanales, a partir de mayo del 2005. Se prepararon cuatro documentos:

- ☛ Análisis de los atractivos y circuitos de Paraíso
- ☛ Estrategia para el desarrollo del ecoturismo comunitario en el municipio de Paraíso
- ☛ Plan de Acción (documento presente)
- ☛ Matriz de resultados esperados y actividades

La matriz de los resultados y actividades fue presentada y discutida en un taller celebrado el día 5-10-05 en Paraíso. Las sugerencias de este taller fueron incluidas en el presente plan de acción. Para poder formular diferentes proyectos, basados en el programa y su plan de acción se celebraron cinco encuentros comunitarios en las comunidades pilotos: San Rafael, Paraíso, Los Patos, La Malanga y Cachote durante el mes de noviembre 2006.

### ***Resultados esperados***

Resultado 1: Se ha mejorado la oferta de servicios ecoturísticos en el municipio en cantidad y calidad

- ☛ Actividades 1.1 Se mejora la calidad de las ofertas de alojamiento y se crean nuevas ofertas de hoteles, pensiones y piezas en casas de familia: Hacer un inventario de posibles sitios, crear fondos de financiar iniciativas, capacitación hotelería, establecer una línea estándar de arquitectura y equipamiento para la creación y remodelación de edificaciones, promover dinamismo del sector productivo en general (ebanistas, albañiles, etc.),
- ☛ Actividades 1.2 Se mejora la calidad de las ofertas de alimentación y se crean nuevas ofertas en el casco urbano de Paraíso, en las playas de San Rafael y Los Patos y en los pueblos de la montaña, igual que 1.1, esta actividad promoverá la producción y comercialización agropecuaria sostenible dentro del municipio, capacitación particular
- ☛ Actividades 1.3 Se crea el servicio de guías prácticos y de interpretación, con una capacitación en el área de trazar, marcar y señalar caminos largos y cortos (uso de mapas, brújula, altímetro, GPS, etc.) y en prácticas de interpretación según los estándares internacionales (p.e. NAI), formación de asociaciones de guías, estandarizar precios y calidad de servicios de los guías,
- ☛ Actividad 1.4 Artesanos: Se preparan artesanos en la fabricación de artesanía con materiales localmente disponibles, como barro, madera, productos de animales y plantas,

etc. Diagnostico del potencial para artesanos: haitianos, participantes en cursos de Infotep (muñecas, marraca, higuera), Crédito, capacitación,

- ☛ Actividad 1.5 Manifestaciones culturales: Se profesionaliza las manifestaciones de música, teatro, bailes, juegos populares, carnaval, reactivar los grupos culturales de la comunidad (equipar, motivar, capacitar, intercambios)
- ☛ Actividad 1.6 Transporte: Mejorar la oferta del transporte. Transporte público actual mini-buses, camiones, camionetas, motoconchos, animales. Definir estándares para el transporte, crédito, transporte público, transporte rentado tipo taxi, renta de vehículos, crianza y alquiler de mulos y caballos, hacen falta sillas. Transporte acuático: botes en San Rafael, Paraíso, Ojeda, Los Patos, hacer diagnostico cuantos hay y cuantos sirven para transporte de turistas, capacitación particular
- ☛ Actividad 1.7 Seguridad: Establecer y mantener una máxima seguridad en todo el municipio: policía nacional, municipal, de turismo, grupos comunitarios comités de protección, capacitación particular
- ☛ Actividad 1.8 Actividades educativas: Campamentos para jóvenes, familias, grupos, apoyo en programas ambientales en las escuelas y otras instituciones de enseñanza, capacitación particular
- ☛ Actividad 1.9 Crear un fondo para facilitar el financiamiento de diferentes empresas y microempresas, sobre todo para la construcción de infraestructura y equipamiento
- ☛ Actividad 1.10 Establecer cursos de español para extranjeros

Visitación desde otros lugares turísticos cercanos (Barahona, Pedernales, La Ciénaga)

**Resultado 2:** El ecoturismo contribuye en forma significativa a la conservación de los recursos naturales y culturales del municipio

- ☛ Actividad 2.1 Se establece un manejo adecuado de los atractivos y circuitos en el municipio, incluyendo señalización, plan de manejo para cada atractivo y circuito, definir responsables, esta actividad se realiza a través de diferentes encuentros-talleres en las comunidades correspondientes, manejo de desechos sólidos, y líquidos, manejo de ruidos, delimitación de áreas con diferentes usos. Atractivos pueden ser: cuevas, balnearios, árboles particulares, miradores, sitios arqueológicos, formaciones geológicas, cascadas,
- ☛ Actividad 2.2 Se acondicionan casas y sitios históricos, sobre todo las de madera, en la parte urbana y rural, a través de un programa de crédito y concursos (quien tiene la casa más bella), publicidad, historia, placas con nombres e historial
- ☛ Actividad 2.3 Motivar la creación de reservas ecológicas en terrenos privados (caso Villa Miriam, bosque nublado en terrenos del General Castillo, bosque de Caoba en la propiedad de Luís Ortiz cerca de Paraíso, bosque nublado cerca de El Maniel

- ☛ Actividad 2.4 Crear un fondo comunitario con una parte las ganancias que genera el ecoturismo para financiar actividades de conservación, como reforestación, saneamiento ambiental, vigilancia comunitaria

**Resultado 3:** El municipio cuenta con una red de circuitos terrestres y acuáticos, turismo de aventura

- ☛ Actividad 3.1 Se establecen x rutas para caminatas largas, cabalgatas y recorridos en mountain bike, cada una con una descripción y señalización en el terreno, mejorar y mantener las vías de acceso para vehículos, y de los senderos,
- ☛ Actividad 3.2 Se establecen x rutas cortas de un máximo de dos horas, incluyendo x senderos interpretativos
- ☛ Actividad 3.3 Se establece una ruta acuática paralela a la costa con diferentes estaciones en los pueblos costeros del municipio

**Resultado 4:** Las actividades ecoturísticas crean oportunidades para personas con pocos ingresos y para mujeres y contribuyen a la reducción de la pobreza

- ☛ Actividad 4.1 Creación y fortalecimiento de empresas y microempresas de diferentes servicios a los visitantes y de producción de alimentos para visitantes, igual del sector formal que del sector informal
- ☛ Actividad 4.2 Creación de oportunidades de empleo en sectores privados relacionados a los servicios ecoturísticos y en el sector público (ayuntamientos)
- ☛ Actividad 4.3 Establecer mecanismos para lograr una mayor equidad en la regulación de los servicios brindados a través de creación y fortalecimiento de asociaciones

**Resultado 5:** Una promoción en diferentes medios de comunicación mantiene un flujo constante de visitantes al municipio

- ☛ Actividad 5.1 Fortalecer el centro de información sobre atractivos, circuitos, actividades, ofertas de alojamiento y alimentación del municipio
- ☛ Actividad 5.2 Preparar y difundir material informativo sobre los recursos naturales y culturales del municipio, además toda la información con relevancia para el ecoturismo: brochures, afiches o póster, sticker, página web, boletines, postales, camisetas y gorras, cuñas radiales y de televisión, artículos en la prensa nacional e internacional, videos, colecciones de fotos, guías sobre diferentes tópicos, mapas, vallas y letreros
- ☛ Actividad 5.3 Acuerdos de promoción con touroperadores, agencias de viajes, hoteleros de la zona y fuera de la zona, transportistas,
- ☛ Actividad 5.4 Participar en ferias locales, regionales, nacionales e internacionales, montar ferias locales

- ☛ Actividad 5.5 Reuniones de promoción con embajadas, secretarías de estado, ONGs, intercambios culturales
- ☛ Actividad 5.6 Hacer convenios de promoción con instituciones y empresas privadas para formar alianzas con fines de financiar, producir y promocionar productos y actividades
- ☛ Actividad 5.7 Celebración de días especiales con actividades de promoción: día del agua, de la tierra, del árbol, del ambiente, patronales

**Resultado 6:** El desarrollo ecoturístico en Paraíso tiene una función piloto para otros sitios con potencial ecoturístico

- ☛ Actividad 6.1 Sistematización y documentación de las experiencias, lecciones aprendidas
- ☛ Actividad 6.2 Intercambio intensivo con otros proyectos ecoturísticos, visitas, comunicación escrita y por teléfono, participación y ponencias en congresos y talleres, facilitación de información

**Resultado 7:** Se han fortalecidas las organizaciones en comunidades con potencial ecoturístico

- ☛ Actividad 7.1 Fortalecer procedimientos internos,
- ☛ Actividad 7.2 Mejorar equipamiento, mobiliario y medios de comunicación

**Resultado 8:** Capacitación en general

- ☛ Actividad 8.1 Capacitación a nivel de los planificadores / ejecutores (equipo Fundeprocupina, SOEPA, CAD, Ayuntamiento, JICA, etc. y personas que desarrollarán liderazgo dentro del programa): experiencia de otros proyectos ecoturísticos, actualización permanente de los planificadores, adquisición de documentos sobre el tema,
- ☛ Actividad 8.2 Aprender y profundizar idiomas, sobre todo inglés y francés, establecer cursos de idioma, ubicados en el municipio
- ☛ Actividad 8.3 Formación y manejo de negocios: contabilidad, trato al cliente, planes de negocio, política de precios, ética, manejo de calidad, presentación de los productos, solicitud y manejo de créditos (financiamiento)
- ☛ Actividad 8.4 Establecer una escuela de formación ecoturística a mediano o largo plazo

**Párrafo I- aparte: Investigaciones científicas:**

- ☛ Geografía y geología
- ☛ Vegetación y flora
- ☛ Fauna: invertebrados, anfibios y reptiles, aves, mamíferos
- ☛ Socio-economía
- ☛ Historia y cultura

**Párrafo II- aparte: Evaluación y Monitoreo**

- Definir las fases del programa y los requerimientos de evolución y monitoreo en cada fase

## ***NFORME SOBRE LA FUNDEPROCUNIPA***

### ***¿QUIEN ES LA FUNDEPROCUNIPA?***

La Fundación para el Desarrollo y la Protección de la Cuenca del Río Nizaito En Paraíso.  
Organismo social de ayuda a las organizaciones, sin fines de lucro de acuerdo a la ley 520 y sus modificaciones, nacida el 05 de Julio 1995

Esta constituido de acuerdo a las leyes dominicanas mediante decreto 388-99  
RNC: 4-17-00726-4

***Dirección:*** Arzobispo Noel n° 25, Paraíso, Barahona, Rep. Dom.

***Teléfono:*** 080-243-1000

***Correo electrónico:*** : [fundeprocunipa@hotmail.com](mailto:fundeprocunipa@hotmail.com) – [Fundeprocunipa@gmail.com](mailto:Fundeprocunipa@gmail.com)

***Página Web:*** Website:[www.geocities.com/fundeprocunipa/index.html](http://www.geocities.com/fundeprocunipa/index.html)

### ***CÓMO SURGIÓ***

Como una respuesta a los grandes daños causados al Medio Ambiente por lo que fue la tumba indiscriminada de la zona de bosques primarios e intermedios en los años 90, motivado a la baja del precio del café lo que motivó precariedades económicas en la familia de la cuenca, esto produjo grandes daños a la flora, la fauna y el suelo motivado principalmente que los agricultores se dedicaron a la siembra de cultivos menores de forestadores como es el Ñame y la Yautía, en esos momento alcanzaron los niveles nunca vistos de precio en el mercado local e internacional. Los agricultores no usaron ninguna técnica adecuada para su siembra, usaban medios primitivos de tumba, quema y abandono.

La dirección de foresta de entonces ante los graves daños ambientales de la cuenca que ponían en peligro los abastecimientos de aguas del Municipio de Paraíso, Enriquillo y Oviedo, así como la irrigación de los terrenos bajos de Oviedo y Enriquillo con las aguas que fluían de la Cuenca a través del canal nizaito. Con esta situación se veía venir un enfrentamiento entre productores agrícolas y autoridades forestales, ya que los agricultores pretendían no dejar de trabajar la tierra porque es su único medio de sustento.

Con la visión de que hombre y recursos naturales tenían que convivir en armonía, es donde el día 5 de junio del 1995 nace la Fundación para el Desarrollo y la Protección de la Cuenca del Río Nizaito en Paraíso (FUNDEPROCUNIPA).

## ***VISION***

EL estado de pobreza de los habitantes del Municipio de Paraíso, el deterioro progresivo de las condiciones de vida de las gentes, la degradación de los Recursos Naturales y el Medio Ambiente, requieren la intervención de instituciones con recursos que permita enfrentar esos males y lograr un estado de convivencia pacífica entre hombre y naturaleza. A partir de esa realidad es que a Fundeprocupipa le da la razón y la vocación para acompañar a los habitantes del Municipio de Paraíso en ese proceso.

## ***MISION***

Coordinación de esfuerzos institucionales para contribuir con el mejoramiento de las condiciones de vida de las gentes y los recursos naturales.

Organización y desarrollo de las comunidades como instrumento de base donde debe sostenerse dicho desarrollo, acompañado con la construcción de estructuras comunitarias.

## ***MEMBRECIA***

En su membresía, la Fundación está conformada por trece miembros directivos, con un Presidente, Vicepresidente, Secretario, Encargado de Finanzas, tres Vocales y los demás miembros. Además, la institución trabaja directamente con cincuenta y tres (53) Organizaciones de Base, con unos mil trescientos veinticinco miembros, de ese total de organizaciones tenemos ocho (08) asociaciones de mujeres, dos (02) sociedades ecológicas, una (01) cooperativa de pescadores, diez (10) asociaciones de caficultores, cinco (05) grupos juveniles, una (01) asociación de estudiantes universitarios, diez (10) juntas de vecinos, Dieciocho (18) asociaciones de agricultor@s.

La estructura organizativa de esta Institución esta conformada de la manera siguiente:

- 1- Asamblea General, es la máxima autoridad de la Fundación y esta compuesta por las cincuenta y tres (53) organizaciones de Base, la cual se reúne de manera ordinaria cada tres años para tratar temas de elección de directiva y modificación estatutaria y extraordinariamente cuantas veces sea necesario.

La ultima asamblea ordinaria eleccionaria se celebro en febrero del año dos mil cuatro (02-2004)

- 2- Asamblea Bimensual o Asamblea Deliberativa, que se celebra cada dos (02) meses, la misma es para evaluar los trabajos de cada una de las organizaciones miembros.

3- Una (01) Junta Directiva compuesta por trece (13) miembros, los cuales son:

- |                        |                                  |
|------------------------|----------------------------------|
| - P. Gerardo Hernández | Presidente                       |
| - Miguel Ángel Espinal | Director Ejecutivo               |
| - Remigio Pérez Feliz  | Secretario y Enc. Administrativo |
| - Sor Beania           | Tesorera                         |
| - Heriberto Cuevas     | 1 <sup>er</sup> Vocales          |
| - Domingo Moreta       | 2 <sup>do</sup> Vocal            |
| - Argeris Carrasco     | 3 <sup>er</sup> Vocal            |
| - Leovaldo Cuevas      | Miembro                          |
| - Luís E. Carrasco     | Miembro                          |
| - Armando Carrasco     | Miembro                          |
| - Rosario Peña         | Miembro                          |
| - Melido Pérez         | Miembro                          |
| - Pablo Segura         | Miembro                          |

### ***PROYECTOS EJECUTADOS POR LA FUNDEPROCUNIPA***

- Diagnostico de la cuenca río Nizaito PRISA-UNION ERUPEA
- Manejo de la cuenca media del río Nizaito coordinado con FUNDASUR
  
- Proyecto de construcción de 400 viviendas con financiamiento MANOS UNIDAS Y CASTILLA LA MANCHA.
- Producción de alimentos como alternativa económica en la cuenca del río Nizaito con financiamiento de la COOPERACIÓN ESPAÑOLA.
- Proyecto formativo de las asociaciones con financiamiento del EPISCOPADO ITALIANO.
- Crianza de animales domésticos para la producción de carne y leche con financiamiento del AYUNTAMIENTO DE ALCÁZAR, ESPAÑA Y CARITAS DE MIAMI.
- Proyecto de microempresa para mujeres campesinas con financiamiento de LEMBA y FUNDEPROCUNIPA.
- Programa de reforestación con donación del gobierno de CHINA-TAIWAN al gobierno de la Republica Dominicana a través de la Secretaria de Medio Ambiente.
- Apoyo a las iniciativas comunitarias con financiamiento del Programa Mundial de Alimentos PMA.

Es importante señalar que FUNDEPROCUNIPA, junto con la comunidad de Villa Nizao, ejecutaron durante dos (2) años el proyecto de protección y conservación de la flora de la cuenca del río Nizaito a través de un subsidio aportado por PPS/FMAM, el proyecto de conservación y manejo sostenible de las cuencas de los ríos San Rafael, con el subsidio PPS/FMAM PRONATURA, Conservación de y Manejo de las Cuencas de los Ríos Ojeda y Los Patos, financiado por el Fondo Mundial para el Medio Ambiente del PNUD.

- Conservación de áreas boscosas comunitarias en la Comunidad de La Malanga, financiado por el Fondo Mundial del Medio Ambiente.



- Construcción de una Clínica Rural Los Patos PMR UNIÓN EUROPEA
- Construcción de 30 viviendas de Villa Nizao CARITAS DIOCESANAS

Además estamos ejecutando un programa de alfabetización de Adultos en las comunidades Rurales, y un programa de Educación Básica a niños que no tienen acceso a la Educación Estatal

- Construcción de Clínica Rural con la Unión Europea
- Construcción Centro de Promoción de la Mujer por la Embajada de Japón
- Centro Comunitario Los Blancos por los Voluntarios de Kansas City
- Construcción de Viviendas por Caritas Dominicana
- Acueducto Villa Nizao por la Unión Europea
- Aljibes de Crestaleandro por la Unión Europea
- Construcción de 65 Letrinas por Populorum Progressio

## ***ATRATIVOS DEL MUNICIPIO DE PARAÍSO***

### Atractivos y rutas San Rafael

1. Mesopotamia con los ríos Majagual y Majagualito
2. Ríos Majagual con sus cañadas y sus cascadas y piscinas
3. Río Majagualito
4. Vista panorámica de San Rafael de diferentes sitios
5. Mirador San Rafael
6. Sendero La Virgen que conduce al nacimiento del Majagualito
7. Sendero Río Majagual cruza el área de la Reserva Forestal de San Rafael, obra de toma y cascada
8. Sendero hacia Manuel Zurdo
9. Sendero El Amazeí (Gustavo) – La Reserva
10. Sendero Majagualito – Cachote
11. Ruta Café Las Mujeres – Charco Blanco – San Rafael con vista sobre Paraíso

### Atractivos y rutas Paraíso y Ojeda

1. Mirador Los Calimetes
2. Mirador que en un futuro sería ecológico
3. Balneario en desembocadura del Río Nizaíto
4. Playa de Paraíso hasta Ojeda
5. Malecón de Paraíso
6. Futuro Mercado Ecológico
7. Ríos Maoché y Joaquín en Ojeda
8. Sendero en la playa hacia desembocadura
9. Sendero La Punta (barco encallado), farallón lindísimo – La Ensenada con su piedra camello
10. Sendero Paraíso – La Toma del Canal Nizaíto
11. Ruta Charco Prieto – Leonardo – La Malanga
12. Ruta Villa Nizao – El Platón – El Toro – Cachote
13. Ruta Café de las Mujeres – Charco Blanco – Cachote
14. Ruta Café de las Mujeres – Charco Blanco – Villa Nizao
15. Ruta Paraíso – Riocito – Punta Alegre
16. Ruta Barrio Nuevo – La Víbora – La Canoa – Ojeda
17. Ruta del Litoral Costero

Ruta acuática Paraíso – San Rafael – La Ciénaga

Ruta acuática Paraíso – Los Patos – Calderón – Enriquillo

Ruta Río Nizaíto El Platón – Paraíso (sólo cuando río lo permite)

### Atractivos y rutas Los Patos

1. Vistas Panorámicas
2. Río Los Patos
3. Playa de Los Patos

4. Cueva Caritas de los Indios
5. Bosque virgen encima de la cueva
6. Ruta Los Blancos o Los Patos – Bejuquero – Cresteliandro
7. Ruta Los Blancos o Los Patos – Bejuquero – El Maniel – Yagrumal – Charco de Lo Lindo

#### Atractivos y rutas La Malanga

1. El pueblo con su cafetal
2. Vistas Panorámicas hacia Valle del Nizaíto y Loma Remigio
3. Bosque nublado de La Torre
4. Piedra La Iglesia
5. Cueva de los Murciélagos
6. Sendero El Platón – Cortico – Cachote
7. Sendero Polo
8. Sendero Nacimiento del Río Nizaíto
9. Sendero Lo Lindo – El Maniel

#### Atractivos y rutas Cachote

##### Cachote

Cachote en una aldea situada en el bosque nublado de las alturas del Bahoruco Oriental, en los linderos del Monumento Natural Padre Miguel Fuerte. Cuenta con el primer centro ecoturístico en toda la región, manejado por la microempresa ecoturística de Cachote.

Responsable: Microempresa ecoturística Cachote

Contacto: Martiano Moreta, cel: (809) 899-4702, 809-524-6609

E-mail: [ecoturismocomunitariocachote@yahoo.com](mailto:ecoturismocomunitariocachote@yahoo.com)

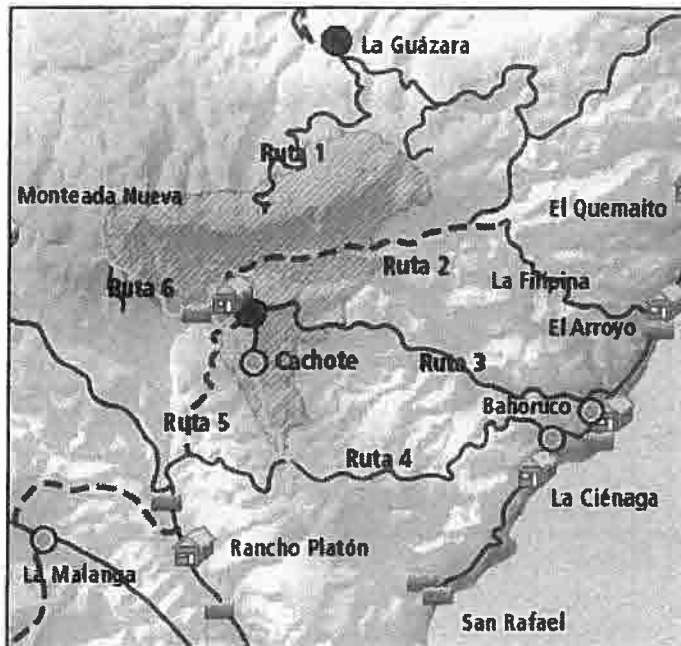
Caminatas o cabalgatas desde Cachote:

1. *Cachote – La Guázara*: 6 horas, valle Río Bahoruco, Loma Pie de Palo, El Montazo, camino vecinal a La Guázara
2. *Cachote – La Filipina*: 3 horas, pasa por única mina de Larimar en el mundo, transporte público para llegar a la costa
3. *Cachote – Bahoruco*: 5 horas, por Cuacho al Río Bahoruco con sus balnearios, termina en Casa Bonita
4. *Cachote – San Rafael*: 5 horas por la carretera hacia La Ciénaga, luego bajando por Majagualito o La Isleta
5. *Cachote – El Platón – Paraíso*: 6 horas, El Platón, Villa Nizao — Paraíso
6. *Cachote – Monteadá Nueva – Polo*: 6 horas, Río Cortico Loma Trocha de Pey, Monteadá Nueva, Polo

Sendero Interpretativo La Jibijoa 1 ½ horas

Cabañas: 25 personas

Camping: 30 personas



## Rutas y atractivos Ecoturísticos de Cachote

Nombre de la institución: Microempresa ecoturística Cachote  
 Contacto: Mariano Moreta, Cel: (809) 899-4702, (809) 761-3444 • E-mail: empresacachote@yahoo.es

1. Alojamiento  
 (hoteles = H, pensiones = P, cabañas = C, habitación en casa de familia = CF)

Tipo de negocio	Ubicación	Teléfono
Centro ecoturístico "Canto del Jilguero"	A 2 km del pueblo de Cachote	No aplica
Área de camping	Mismo sitio	
Casas de familia	En el pueblo	No aplica

### 2. Alimentación

(tipo: restaurantes = R, comedores = C, comida en casa de familia = CF), disponibilidad si siempre hay comida o si hay que pedir con anticipación

Tipo de negocio	Ubicación	# mesas	# platos	Disponibilidad de comida	Sanitarios
Comedor en el Centro ecoturístico "Canto del Jilguero"	A 2 km del pueblo de Cachote		Según pedido	Después de preaviso	si

### 3. Rutas ofrecidas

(recorrer sendero interpretativo SI, caminata (a pie o en mulo) CL, observación de aves (OA), recorrer ruta en mountain bike o caballo MB o Ca, ruta acuática RA, actividad deportiva AD), vehículo (autobús, camión, etc).

Tipo de ruta	Nombre	Duración	Ambiente – atributos
SI	La Jibijoa		Bosque nublado
OA	Ruta observación de aves	2 horas	Bosque nublado
AD	Canyoning Río Cortico	5 h ida	Cafetal – río
CL	Río Cortico	5 h ida y vuelta	Cafetal – río
CL	Río Cortico en mulo	4 h ida y vuelta	
CL	La Filipina	3 1/2 h ida	Bosque nublado – mina de larimar
CL	La Filipina en mulo	3 h ida	
CL	El Montazo	5 h ida	Bosque nublado
CL	El Montazo en mulo	4 h ida	
CL	Bahoruco	6 h ida	Bosque nublado – vistas – bosque ribereño
CL	Bahoruco en mulo	5 h ida	
CL	Polo (2 rutas)	7 h ida	
CL	Polo en mulo	6 h ida	
CL	La Malanga	5 h ida	
CL	La Malanga en mulo	4 ida	